

# The National Conference of Community Cinemas 2017 in Yokohama

## 全国コミュニティシネマ会議 2017 | 参加申込書

下記内容を、8月25日(金)までにEmailまたはFaxにてご送付下さい。

ご出席申し込みに対しては、追って確認のご連絡を差し上げます。

\* 定員を越えた場合、お申込を受けられない場合がございます。ご了承ください。

Email [kaigi2017@jc3.jp](mailto:kaigi2017@jc3.jp) \*件名に「コミュニティシネマ会議申込み」と記載の上、下記内容をメール本文に記入し送信してください。

Fax 03-3461-0760 \*下記フォームにご記入の上、ファックス送信してください。

所属 (ふりがな)

所属部署・職名等

氏名 (ふりがな)

住所

〒

TEL FAX

e-mail

● 参加するものにチェックしてください

9月8日(金) 横浜市開港記念会館 講堂 定員:300人

13:30-18:45 会議

19:00-20:45 レセプション[象の鼻テラス 定員:150人]

9月9日(土) 横浜市開港記念会館 会議室 定員:150人

10:00-11:00 トーク

11:10-13:00 ディスカッション:続・ミニシアターの20年

● 映画上映 横浜シネマリン 定員:102人

15:00- 短篇集+レクチャー

16:45- 『太陽の王子ホルスの大冒険』

18:30- 『GHOST IN THE SHELL 攻殻機動隊』(予定)

会場 横浜市開港記念会館 (国指定重要文化財)  
横浜市中区本町1丁目6番地

横浜市開港記念会館は、横浜開港50周年を記念し、市民の寄付金により大正6(1917)年に創建されて以来、横浜の代表的建造物の一つとして多くの市民に親しまれてきました。2017年7月1日、横浜市開港記念会館は、開館100周年を迎えました。

[交通アクセス]

-みなとみらい線「日本大通り駅」1番出口から徒歩1分

-JR京浜東北線・根岸線「関内駅」南口から徒歩10分

-市営地下鉄線「関内駅」1番出口から徒歩10分



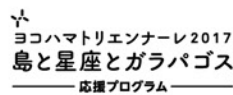
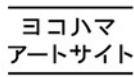
お問い合わせ |

コミュニティシネマセンター

横浜シネマネットワーク実行委員会

tel.050-3535-1573 film@jc3.jp

横浜シネマリン tel.045-341-3180 / シネマ・ジャック&ベティ tel.045-243-9800



# The National Conference of Community Cinemas 2017 in Yokohama

## 全国コミュニティシネマ会議 2017

2017年9月8日[金]・9日[土]

|会場|

横浜市開港記念会館

|参加費|

会議...1,500円

\* コミュニティシネマセンター会員は会議のみ参加は無料(1団体1名)

\* 9月8日、9日共に参加可。一部のみの参加も同じ

レセプション...3,500円

【関連企画】

「祝! 国産アニメーション生誕100年」特別上映

会場: 横浜シネマリン / 1プログラム: 1,000円

\* 会議参加者は「短篇アニメーション集」は無料

|お問い合わせ|

コミュニティシネマセンター tel.050-3535-1573 film@jc3.jp

横浜シネマネットワーク実行委員会

[横浜シネマリン tel.045-341-3180 / シネマ・ジャック&ベティ tel.045-243-9800]

<http://jc3.jp/wp/conference/>

主催 | 文化庁委託事業 平成29年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業/一般社団法人コミュニティシネマセンター

横浜シネマネットワーク実行委員会/横浜シネマリン/シネマ・ジャック&ベティ【助成: 横浜市地域文化サポート事業・ヨコハマアートサイト2017】

制作 | 一般社団法人コミュニティシネマセンター/横浜シネマネットワーク実行委員会

協力 | アンスティチュ・フランス日本、アーツコミッション・ヨコハマ(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)、東京国立近代美術館フィルムセンター(映画上映)

後援 | 横浜市文化観光局

# 全国コミュニティシネマ会議2017 イン 横浜

1917年に国産アニメーションが誕生して100年となる2017年の全国コミュニティシネマ会議は、横浜市で開催します。会場は、港・横浜のシンボルともいえる横浜市開港記念会館(国指定重要文化財)、8月から開催される「ヨコハマトリエンナーレ2017」の展示会場ともなります。

今年の会議では、ヨーロッパのインディペンデント映画館の巨大ネットワークをつくるEU傘下の組織「ヨーロッパシネマ」のディレクター、クローデリック・ポワロウ氏をはじめ、多彩なゲストを迎え、デジタル化、テクノロジーの進化によって多様化する“上映の現在”を探ります。また、全国各地のミニシアター・コミュニティシネマのプレゼンテーションやディスカッションなど、多彩なプログラムを準備しています。

## プログラム

\*出演者等は変更になる場合がございます。ご了承ください。

## 9. 8 金

13:30 - 13:45

主催者挨拶/コミュニティシネマセンター活動報告

13:50 - 15:00

講演 ヨーロッパの映画館の現在と未来 (仮)

東欧、バルカン諸国を含むヨーロッパの国々にロシアやトルコを加えた41カ国、654の町、1088の映画館・2684スクリーンを擁する巨大な映画館ネットワークをつくり、その活動を支援する「ヨーロッパシネマ」(EUROPA CINEMAS <http://www.europa-cinemas.org/>)。この組織の創設者であり、ゼネラル・ディレクターでもあるクローデリック・ポワロウ氏に、ヨーロッパの映画館の現状と、さらなる“デジタル化”を見据えた映画館の未来を聞きます。

【講師】

クローデリック・ポワロウ Claude-Eric Poiroux

[ヨーロッパシネマ ゼネラル・ディレクター]

15:10 - 17:30

レクチャー+ディスカッション

上映とは何か。～多様化する「上映」を考える

フィルムからデジタルへの移行が完了し、シネコンには4DXやVRなど新たな設備が導入され、映画館空白地域では“マイクロ・シアター”やカフェシネマなど新たな上映スペースが生まれ、爆音上映や応援上映、野外上映など上映のイベント化が進むなど、映画の視聴形態が多様化すると同時に、上映のあり方も多様化しています。

上映とは何なのか。“上映”の起源から、その言葉の定義、概念を考えるレクチャーをもとに、アーカイブ、映画館、マイクロ・シアター等、最前線で活動する人々の話を聞き、“上映の現在”を俯瞰し、その意味を探ります。

15:10-15:50 レクチャー「“上映”を定義する」(仮)

【講師】

岡島尚志 (東京国立近代美術館フィルムセンター 参事)

16:00-17:30 ディスカッション

【パネリスト】

大高健志 (MotionGallery代表/popcorn共同代表) / 樋口泰人 (boid主宰/爆音映画祭プロデューサー) /

岡島尚志/クローデリック・ポワロウ ほか

【司会】三浦哲哉 (映画批評/青山学院大学准教授)

17:40 - 18:45

プレゼンテーションマラソン “映画都市・横浜！”を中心に

【登壇団体】

横浜シネマリン、シネマ・ジャック&ベティ、シネマノヴェチェント、ヨコハマ映画祭、横浜キネマ倶楽部、海に浮かぶ映画館、ヨコハマらいぶシネマ、東京藝術大学大学院映像研究科、シネコヤ(藤沢市)、シネマ・アミーゴ(逗子市)、鎌倉市川喜多映画記念館

19:00 - 20:45

レセプション

会場 | 象の鼻テラス

## 9. 9 土

10:00 - 11:00

トーク「映画の世界へ誘う、字幕という仕事」

1987年より映画字幕翻訳者として数々のアート系映画の日本語字幕を担当してきた寺尾次郎さんに、観客を未知の世界に誘ってきた30年間についてお話いただきます。

【トーク】寺尾次郎

1979年、配給会社日本ヘラルド映画に入社、主にパブリシティーを担当。87年にデイヴィッド・クローネンバーグ監督『デッドゾーン』で字幕翻訳家デビュー。フランス語、英語を中心に劇場公開作品、国際映画祭で活躍。2016年には、ゴダールの『勝手にしやがれ』『気狂いピエロ』のデジタルリマスター版の字幕を手掛けた。

【きき手】田井肇 (シネマ5 [大分]代表/コミュニティシネマセンター代表理事)

11:10 - 13:00

ディスカッション「あしたの映画館のすがた – 続・ミニシアターの20年」

昨年に続き、ミニシアターが、この20年の間にどのように変化してきたのかを話し合います。ミニシアター界の「老舗」岩波ホール、伊勢・進富座、そして、2010年に誕生した神戸・元町映画館。ミニシアターはどんな映画館を目指してきたのか、現状はどうか、これからのミニシアターは…。最前線で活動している劇場と配給会社のスタッフが垣根のないディスカッションを展開します。

【パネリスト】

原田健秀 (岩波ホール)/水野昌光 (伊勢・進富座) /林未来 (神戸・元町映画館) /木下繁賢 (合同会社東風)

【司会】北條誠人 (ユーロスペース/コミュニティシネマセンター理事)

13:15

コミュニティシネマ会議 終了

## 関連企画「祝！国産アニメーション生誕100年」特別上映

2017

2017年、日本のアニメーションが誕生して100年となります。

この100年間に、日本で製作発表されたアニメーションは、11,918作品にも上ります。今回の上映会では、この膨大なアニメーション作品から、映画史的に重要なクラシック作品から、国際的に高い評価を得ている現代のアニメーション作品まで、日本アニメーション100年の歴史の一端をフィルムでご覧いただきます。(協力：東京国立近代美術館フィルムセンター)

2007

1997

9月9日(土) 会場：横浜シネマリン 横浜市中区長者町6-95 <http://cinemarine.co.jp/>

1987

上映プログラム (予定) \*全て35ミリフィルムでの上映

1977

15:00- 短編アニメーション (東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品集)

↑ 上映の前に山村浩二氏(アニメーション作家/東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻教授)によるミニレクチャーがあります。

1967

1957

『なまくら刀(堀内名刀之巻)』【最長版・デジタル復元版】1917/幸内純一/3分/24fps/染色/無声

『漫画 瘤取り』1929/村田安司 /10分/24fps/染色/無声

1947

『AN EXPRESSION』1935/荻野茂二/4分/24fps/カラー/無声

『くもとちゅうりっぷ』【デジタル復元版】1943/政岡憲三/16分/白黒

1937

『KIJIRA』【デジタル復元版】1952/大藤信郎/9分/カラー

『メトロポリタン美術館』1984/岡本忠成/2分/カラー

1927

『頭山』2002/山村浩二/10分/カラー

16:45- 『太陽の王子ホルスの大冒険』1968/高畑勲/82分/カラー

18:30- 『GHOST IN THE SHELL 攻殻機動隊』(予定) 199/押井守/83分/カラー

入場料：1プログラム1,000円/会議参加者は「短篇アニメーション集」は無料

1917